

●初春の祭り● 神明市

タコ博士、今年もJR三原駅前に神明市のとんどが立っていますね。

おや、気付いたかね。

とんどは、竹を束ねて、松、わら、みかんなどで飾りつけたもので、燃やして健康などを願う風習があるんじゃよ。特に神明市の時期は、とんどに神が宿るとして駅前にまつられているんじゃ。



▶1月下旬から駅前に立てられる
神明市のとんど

神明市はいつ始まったですか？

始まりは全国各地で行われた神明祭という祭りで、室町時代からあつたんじゃ。伊勢神宮の靈を分けた神様(神明)をまつっていたんじゃよ。

近くの村や島からも人や商人が集まるようになつて、「市」に発展したんじゃ。

そうなんだ。食べ物、植え木、くじも売つていて、何を買おうか迷うな。いろいろなだるまも売つていますよね。



全國から数百の露店が
集まるんじゃよ。だるま



「日本」って書いてある大きいだるまも見たことがあります。

4代目の神明大だるま
は、昨年新調されたんじ
や。高さ3・9m、胴回りの直
径2・9m、重さは1・5トン
もあるんじゃよ。



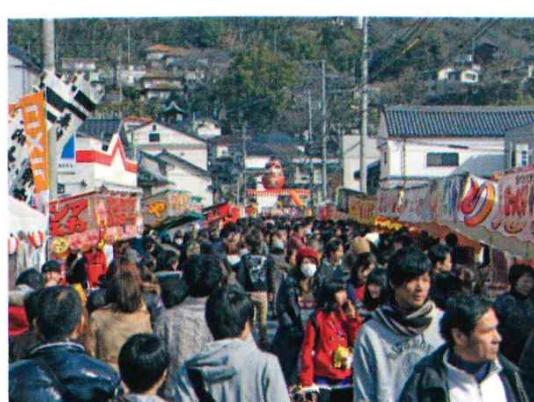
▲手作りの三原だるまも販売されます

は、江戸時代に売られるようになつて、家族の数だけ買うと、家族の安全と繁栄、願いが叶うといわれているんじゃ。

7日(金)～9日(日)にあるんじゃ。人が多いから迷子にならないように気を付けるんじゃよ。



神明市、楽しみだな。
今年は、いつ開催される



▲東町・館町・本町一帯で行われ、毎年多くの人出でにぎわいます